

全国鉄構工業青年部連合会

平成29年度 第4回 理事会 議事録

◎日時:平成29年11月18日(土) 13:00～

◎場所:東京鉄構工業協同組合事務局

《次第》

1:開 会 13:00～13:15

司会 :中辻 補佐 :中原

◎ 開会あいさつ (中辻)

◎ 会長あいさつ (稲森)

・今年度も早いもので後二か月で年の瀬となります。夏以降、各社とも堅調な鉄骨需要に支えられ工場加工及び現場加工共に高い稼働率となっています。ここにきて見受けられるのが「人材不足」です。次代を担う若者に我々の業界をどうアピールできるのかが喫緊の課題でもあります。

また、先日は親組合と各BC長による意見交換会も開催されました。業界の今後を担う我々は次代を担う気概を持って頑張っていかなければなりません。今年度足をとめてゆっくりと全体を見渡し、何が足りなくて何をしなくてはならないのかがよく見えてきたと思います。これからは少しずつ結果を求めて一步一步前進していきましょう。

今日も長丁場宜しくお願いします。

◎ 出席者の確認

○本人出席 13名 *伊藤氏は中部BCの事業と重なったため欠席

(稲森、中辻、大塚、伊藤、池田、成澤(克)、小林、小泉、井上、中尾、守谷、渡邊、成澤(則)、中原)

○他出席 1名(鋼構造ジャーナル 田中氏)

◎ 議事録作成人

○議事録作成人 総務委員 池田、中原

◎ 前回議事録確認(中辻)

○第3回理事会議事録

○福井県青年部創立40周年記念事業、中国BC訪問報告

稲森会長及び井上理事より福井県青年部創立40周年記念事業の報告を行いました。同青年部は全国に先駆けて設立された一番歴史のある組織であり、脈々と結束力が組合活動には必要であるとの思いが引き継がれていました。記念事業や懇

親会の席でも先輩と現役が非常に強い絆で結ばれているなど感じる会でした。また、式典では「三方よし」の近江商人の商いの心を学びました。

中国BCの役員会及び全国大会実行委員会に稲森会長及び中原理事にて訪問を行いました。酒井BC会長から「私は全青会を通して全国の青年部の活動を知る機会を得ました。その様な学びの場が我々の行う全国大会でも感じ取れるよう準備していきたい。」と抱負を述べられ会が開催されました。役員会は市況報告を各県より報告が行われました。ボランティア活動などもあるようで各県とも多彩な活動を行っていることが報告されました。また、全国大会の件ではやはり全国大会当日の宿泊施設の確保が非常に困難を極めるので早めの宿泊先確保をお願いされました。最後に予備登録が及び協賛について全青会で審議して頂き速やかに予備登録・協賛について作業を開始したいとの事でした。その後CADとBIMの現状をドットウエルB・M・Sの方々が講師となり研修会が開催されました。

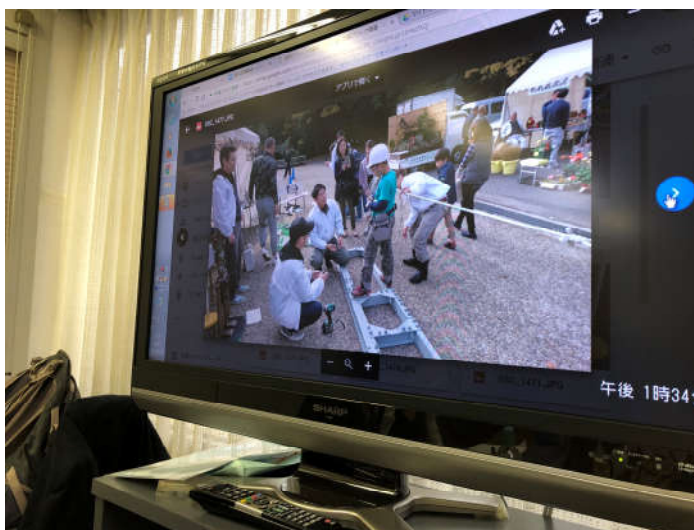
2:協 議 ・ 審 議 事 項

13:15～16:55

① 各ブロック事業報告及び市況報告 13:15～14:00

各BCの事業報告はグーグルドライブに格納され補足程度で各ブロックより事業報告及び市況報告名がなされました。印象的であったのは近畿BCの奈良県の技能フェスタでの出店についてでした。一般の方に向けて身近に鉄を感じて頂こうと、鉄を使用した個性的な小物やアニメのキャラクター置物、ベンチなどを製作・販売していた事でした。また、子供達向けにボルトねじの締め付け体験や鉄骨建て方の模擬体験などを行うブースなど設け盛況であった事が報告されました。

また、各ブロックとも仕事は旺盛であり人材不足が喫緊の課題であると報告されました。



② BC長会議について 14:00～15:00

別紙の通り京都及び東京にてBC長と今後の全青会について協議がなされました。
(別紙参照)

③ 各委員会について(各委員会にて協議) 15:10～15:45

総務委員会

・今年度更正予算について

会計池田理事より今年度の残額及び今後の理事会の予算検討などを行い、
若干の補正を行い今年度の決算を来年の3月上旬には行える事を確認いたしました。

・次年度予算について(2案準備)

親組合の助成金及び会員の会費がどの程度になるのか不明瞭な点があるので
概ね2つの予算案を立てて準備をしたいとの事が次年度三役より報告がありました。

・次年度人事・組織体制について(各ブロックの内定者確認)

次年度の人事について各ブロックの内定者報告がなされました。来期の最終
人数によって最終の判断が必要ですが概ね来期の出向者選出がなされました。
尚、次年度三役は、近畿出向理事の中原理事、中国出向理事の守谷理事、
北海道出向理事の成澤理事が務める事が承認されました。

・次年度理事会事業について(次年度理事を中心に協議)

次年度理事会の開催予定日と開催事業予定を次年度三役理事により準備が
進められている事が報告されました。

・全国大会(会長会議)について(会長会議の内容)

大幅に時間を増やして臨む会長会議の流れを次年度三役を中心に進め方や
目的を定め内容を詰めていく事が報告されました。概ね進め方を年内にまとめ、
アンケートなど必要となる際は各BC長を通して早急に案内を行う事が報告され
ました。

・次年度第一回理事会について(会場及び内容について)

次年度第一回理事会は、平成30年4月20日(金)の12:00受付開始で
13:00～17:00とします。尚理事会会場は全国大会と同じ会場で「広島国際会
議場」で 会場はランで行います。昼食を同会場にてとる予定です。
(千円程度の弁当の予定)

WG①

- ・ボランティア活動について(ノズルチップの収集等についての案内)
運用方法が確定したので案内文と共に各BC長を通じて活動をお願いする事が決定いたしました。案内文等は別紙の通りです。

WG②

- ・HPの運用について全青会のHPが先日更新されました。
これからも各理事より更新が出来るよう準備がなされタイムリーな情報発信が行えるようになりました。

④ 全国大会について(進捗状況説明) 15:50～16:10

- ・メーリングリストの再確認について
伊藤理事より中国BC担当者へ最新のメーリングリストを配信する事としました。
- ・予備登録・本登録について
予備登録について理事会に資料が提出され、審議し可決しましたので速やかに予備登録の案内を行う事を中国BCへ依頼しました。

⑤ 次年度体制について 16:10～16:55

- ・次年度体制について
次年度内定者を中心に次年度体制、次年度の事業など年内に取りまとめ一月には親組合に案内及び報告を行う予定とします。

3:報 告 事 項 17:00～17:15

① 全構協から

来年の1月19日に賀詞交歓会が開催されるのでこの日の前後にて来期についてお願い及び報告を行う予定としております。

4:今後のスケジュール

次回 第5回 理事会:平成30年 3月10日(土) 13:00 開始 場所:東京又は鹿児島

5:そ の 他

懇親会 18:30～ 懇親会を忘年会を兼ねて開催致しました。

6:閉 会

